



# 木田のぼる

第2号

題字:草刈樵峰

県政に向かって走る



木田のぼる後援会

## これからの「大分のまちづくり」に必要なもの

福祉や社会保障、子育て・教育、産業・雇用、都市計画や環境、地域づくりなど、皆さんの暮らしの基盤である社会環境は、これからの「人口減少社会」への対応を迫られています。

「木田のぼる」は、子どもや孫の世代にも笑顔と活気あふれる大分を残したい、との思いで24年間勤務した市役所を退職し、県政をめざすことを決意しました。

地域の实情に応じた、県と市の新たなランドデザインを描き、「<sup>あす</sup>くらしに笑顔 未来への大分」を実現するため、一生懸命がんばります。

## 木田のぼるが描く

### おおいたのランドデザイン



—詳細は裏面へ—

## 木田のぼる



### プロフィール

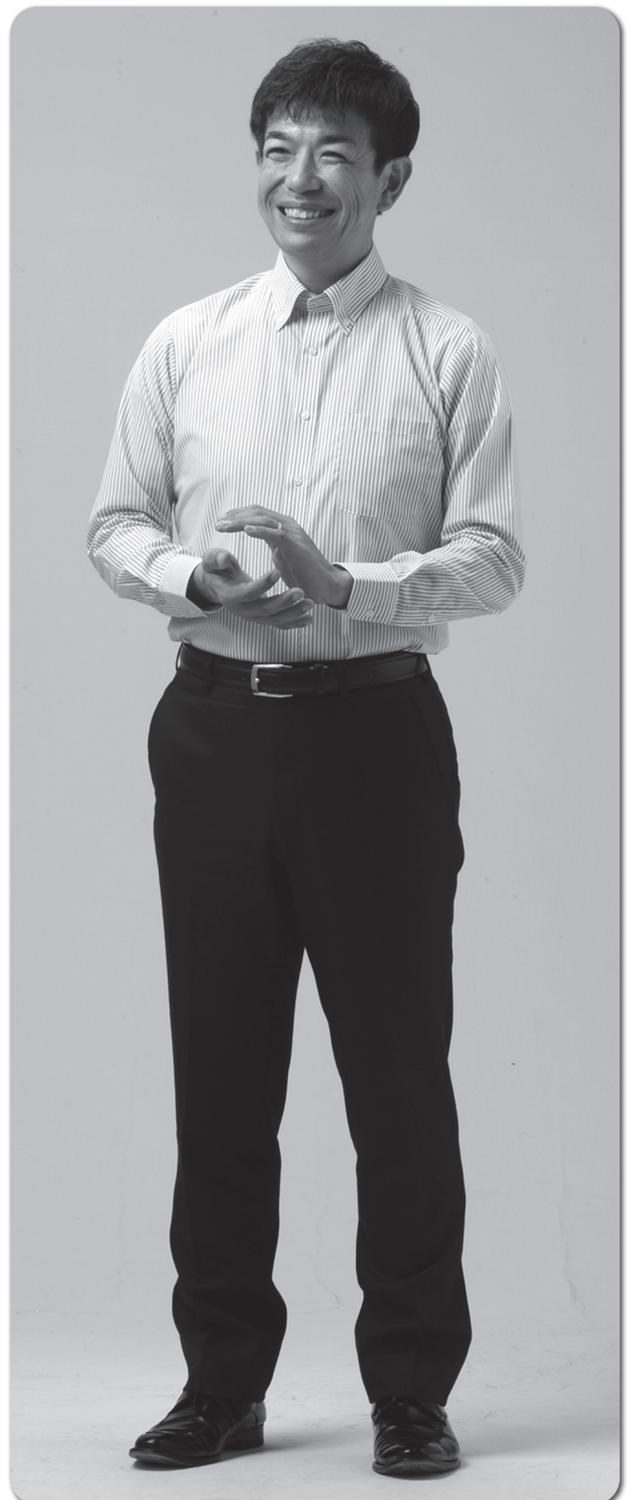
- 1967(S42)年 竹田市に生まれる 現在 47 歳
- 1983(S58)年 竹田中学校卒業
- 1986(S61)年 竹田高校卒業
- 1990(H2)年 大分大学経済学部卒業
- 1990(H2)年 竹田市役所臨時職員として、水害復旧に勤める
- 1991(H3)年 大分市役所に就職 観光 PR、農業振興、IT 関連業務に従事
- 2011(H23)年 大分市職労執行委員長
- 2014(H26)年 大分市役所を退職

○家族…妻、長女（大学1年生）、長男（高校2年生）

○趣味…読書、釣り、サイクリング

○好きな言葉…易きに流れず厳しくとも正しきを追う

—南太平寺で家族と暮らしています—



# 人口減少社会に対応した あす 未来への大分に必要なこと

全国的に人口減少が進むとされているなかで、東京を中心とした大都市圏への人口流出は、大分のような地方都市にとって大きな影響を及ぼします。その一方で、出生率については、大都市圏に比べて地方都市の方が高くなっているのが現状です。

私は、“ゆとりある暮らしは地方にある”と考えています。将来を見据えたなかで、都市基盤の整備も進んできた大分をもっと「ずっと住みたい」「子どもを産み・育てやすい」「地域のつながりが深い」まちにしていきたいと思っています。

もっと

## ずっと住みたくなるまちへ

大分で生まれ育った皆さんが“ずっと大分で暮らしたい”と思い、それを実現できるまちづくりを進めることは重要なテーマです。

私は、恵まれた豊かな自然環境と、生活の利便性が高い市街地を生活圏にもつ“すばらしい郷土大分”の魅力をさらに高めていきたいと思っています。

また、地場産業の育成と発展により、性別や世代を問わず働ける雇用の場を確保することで、ずっと大分で暮らせる環境を整え、あらゆる世代の人たちにとって「ずっと住みたくなるまち」をつくっていくことが大切だと思います。

もっと

## 子どもを産み・育てやすいまちへ

人口減少に歯止めをかけ、人口を安定させていくためには「出生率の向上」が必要です。

子どもを産み育てる世代は働く世代でもあり、長時間労働や低賃金などの労働環境の悪化、子どもの教育費負担などの心配から“子どもを産み・育てにくい現状”を改善していかなければなりません。

まず、出産する女性の立場から見た、子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、男女がともに子育てや社会活動へ参加できる環境づくりを進めていくことが重要です。

もっと

## つながりを深める地域づくり

人々の意識の変化により地域のつながりが薄れつつあるなかで、人口減少や高齢化といった地域での課題を乗り越えていくためには、地域力を高めることも大切です。

また、これまで受け継がれてきた地域文化を現代、そして次代へと伝えていく意味でも、幅広い世代が地域に関わる“きっかけづくり”も重要だと思います。

まずは、地域で暮らす皆さんが互いに顔の見えるつながりを深めていき“地域の人を地域で支えあう”ことで、地域力を高めていくことが必要ではないでしょうか。



木田のぼる後援会



県政に向かって  
走る!

【大分事務所】 〒870-0047 大分市中島中央1丁目4番33号  
TEL 532-1001 / FAX 535-2225

【南大分事務所】 〒870-0888 大分市三ヶ田町3-4組 ステラコルテ1F (旧ほていやビル)  
TEL 546-8006 / FAX 546-8007

《討議資料》